

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第5武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定懇談会
開 催 日 時	令和2年2月27日（木） 午後5時30分～午後7時20分
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：木村委員（座長）、大谷委員（副座長）、宮崎委員、榎本委員、押本委員、武内委員、江郷委員、草間委員、田中委員 欠席者：榎戸委員、小林委員 事務局：健康福祉部地域福祉課長、同課市民なやみごと相談係係長、同係主事、委託業者1人
議 題 等	1 報告 第4回武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定懇談会の会議録について 2 議題 (1) 武蔵村山市子どもの未来応援プラン（素案）について (2) 武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定懇談会報告書について (3) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：武蔵村山市子どもの未来応援プラン（素案）について 本日出た意見は、今後の応援プラン作成に当たり可能な限り反映することとし、事務局に一任する。 議題2：一部修正の上、決定する。 議題3：その他 本日の会議録は作成でき次第各委員へ送付し、確認をお願いする。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 報告 報告事項1：第4回武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定懇談会の会議録について (事務局) 「武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定懇談会に関する運営要領」に基づき、会議録の要旨を取りまとめたものである。 この会議録については、本日の会議資料配布の際、発言の真意が表現されていない箇所、不適当な表現等があれば事務局まで連絡をもらうことになっていたが、本日まで意見はなかった。会議録については確定すれば、今後会議資料と合わせて市のホームページで公開することとなる。 (座 長) 会議録について、質問、意見はあるか。なければこの内容で確定ということでよろしいか。 (委 員) 異議なし。 2 議題 議題1：武蔵村山市子どもの未来応援プラン（素案）について (事務局) 資料3「武蔵村山市子どもの未来応援プラン（素案）」について、主に前回からの変更点を説明。 －質疑・意見等－ (座 長) 7頁、ひとり親の図は72頁に移動して大きくしたとのこと。脚注3、4の資料名には「」を付けた方がよいのではないか。 (事務局) 「」を付ける。 (座 長) 2章はどうか。応援プランの対象についてはこの形でよいか。意見はあるか。 (座 長) 前回懇談会での意見は、全ての子どもが対象、経済的困窮だけでは

なく、教育や社会体験の不足などいろいろな施策事業があるのでそういうニュアンスが出ればよいということである。今回の案ではどうだろうか。

(座長) 例えば、「全ての子どもとその家庭が対象です。特に、経済的な困難をはじめ、そこから派生する様々なニーズを抱える子ども及びその家庭とします。」とするのはどうか。

(委員) 私はこの17頁の案で十分と思う。社会政策のための計画で、お金がないということが貧困であり、あまり全体へと広げるとフォーカスがぼけてしまう。

(座長) 前回議論は、経済的困窮だけでなく、施策の中には教育、学習などがあるのだからという議論であった。事務局でももう一度考えてみてほしい。

(事務局) 事務局で再度検討する。

(座長) 第3章はどうか。図は見やすくなったと思う。意見を反映していただき、ありがたい。20、21頁の下はイラストなど入れてはどうか。

(事務局) イラストを入れることとする。

(座長) 第4章はどうか。27頁のデータ、上の囲みは全国、下の枠は何人が進学したかということのようだが、全部足すと100%になるならわかるが。違和感がある。

(委員) 上と下を比較したいというのであればこの比較は間違いである。比較の対象になっていない。

(座長) 下の表は、中3の進路、進学となればよいかもしれないが、それでも少し疑問がある。このデータ掲載は適切かどうか。

(委員) 実際に貧困や、そのため育児困難だったりする人はその人自身の最終学歴が低い。中3卒業時点で進学していたとしても、その後で学校をやめてしまうこともある。そもそも全国と比較して市の数字が低いわけではないだろう。

(事務局) この関連データについては内容検討する。

(委員) 28頁、前回素案で支援学級のところに(心身)とあったので、それに限らぬためとってもらったが、かえってわかりにくくなった気がする。本文にも説明があるので、()は取ってしまった方がよい。

(事務局) ()は取ることにする。

(委員) 中高生の居場所に関して子ども食堂推進事業が加わったとの説明だが、資料編の調査の56頁の居場所では静かに勉強する場所がほしいという結果であり、これらと子ども食堂はズレないか。

(委員) 他市では子ども食堂で上の年齢の子どもから勉強を教わることもあるだろうが、少なくともうちではそれはない。小学生でさえ来ていない状況で、今はもっと小さい子どもと親子が中心である。現時点では中高生の居場所というのは程遠い。やはり児童館などで受け入れをすべきで、そこを書いてほしい。

(事務局) 対象が子どもだけではない子ども食堂が、地域食堂という名前で1か所ある。中高生も対象とするという説明ではそれを念頭に置いた。

(座長) 既存のもので何があるかではなく、これから5年間でどうするかを書くべきだろう。庁内で検討した結果、それが子ども食堂となったということだが、中学生などに対しても子ども食堂推進事業を使うのならそれはそれでよい。実際に年齢を問わず使われていて、そこで学習などやっているならそれでよく、そのタイプをもっと作っていくということであればそれでもよいが。

(委員) 56頁の調査結果の静かに勉強ができる場所の希望について。貧困の子どもたちは家で勉強しても褒められない、家のことをやれば褒められる、だから勉強に積極的ではない、という状況である。そんな中、このようにそれでも勉強する場所がほしいというこれだけの声が

あることを計画に反映してもらえないのか。実現可能かどうか別としても出してほしい。

(座 長) 34頁、居場所づくりとしては懇談会での話などもここに入っているのだと思うが、確か、地域未来塾は中学生もということだったと思う。児童館は逆に時間延長が消えてトーンダウンした印象である。あとは放課後子供教室、これは小学生。いくつかの事業との兼ね合いで居場所を考えてはどうか。

(座 長) 子ども食堂推進は、3-2の居場所づくりにも再掲してはどうか。

(座 長) 31頁2段落目、また、「就学後の」と入ったとのことである。就学後とは具体的には？ 小学生のことという印象であるが、もう少し年齢の高い人について触れてほしい。質の高い幼児教育・保育、で始まり、就学後の子どもについて、と続くがもっと上の年齢層について「就学後の」でよいか。

(委 員) 保育園では小学校にあがることを「就学」という。私としては、違和感はなかった。

(座 長) 就学後、だと、小学生、またこの文だと保護者が留守の人だけに偏っているの、先ほどの委員意見のとおり、居場所がなぜ必要か、など、少しこの2行を考えたい。事務局で考えてほしい。

(事務局) 事務局において検討する。

(座 長) 第4節、仕事を応援についてはどうか。

—意見なし—

(座 長) 第5節は前回特に意見はなかったとのことである。

(座 長) 41頁の上の関連データ枠は「全国」である旨入れた方がよい。下の枠は「本市における」となっている。全国と市を横並びに比較しているときは(全国) (武蔵村山市)となっている。

(座 長) 46頁、下の関連データは、配布状況100%というよりは、武蔵村山市ではこのように配布していますよ、という表現にしてはどうか。100%とあると数字が目に入ってきて、上と比較とってしまう。市での取り組み内容では、こんなことをやっている、という文章表現にしてはどうか。

(委 員) ここ(関連データ)にある数字は、これが低いから支援する、というためのものだと思うので、ここにあげる理由がよくわからない。

(事務局) 教育委員会にも確認する。

(座 長) 46、47頁の表はどうか。前回に比べて見やすくなったように思うが、下の「基本目標1、支援をつなぐ」はなぜここにあるのか。

(事務局) 当初の、「つなげる」と「つなぐ」を分けていた時の名残である。上の基本目標1を「つなげる・つなぐ」とし、その中に連絡会を縦書きで入れる。下の行は取る。

(座 長) 基本目標1の「社会的養護の下で生活する子ども」と上の4枠との境の線はとってはどうか。ここに児童相談所を入れてはどうか。庁内で検討してみたい。

(座 長) ここまでいただいたご意見を最終案に反映してもらい、事務局に一任するということがよいか。

—異議なし—

(座 長) それでは、ただいま意見のあった部分を修正し、これ以降は事務局に一任することとする。

議題2：武蔵村山子ども未来応援プラン策定懇談会報告書について

(事務局) 資料4「武蔵村山子ども未来応援プラン策定懇談会報告書(案)」について説明。

—質疑・意見等—

(座 長) (1) 対象について、(2)の基本目標については、先ほどの議論

	<p>に合わせて変更していただくことになる。</p> <p>(座長) 武蔵村山市の児童福祉の課はどこになるのか。</p> <p>(事務局) 子ども・子育て支援課である。</p> <p>(座長) (2)の2つ目の○は「児童福祉の考え方からすると」という表現は市の中で一般的か。社会福祉の中で児童福祉という言葉はだいぶ使わなくなっている。庁内部署も「子ども・子育て」なのであれば、ここは児童福祉といった表現では固いようなので、子ども家庭福祉といったものにかえてはどうか。</p> <p>(事務局) 子ども家庭福祉といった言葉を市でも使うのでそれに変わることを考える。</p> <p>(座長) 報告書の案では、これまでの議論で出たことがしっかりと入っている。他に追加したいことなどあるか。</p> <p>(座長) 対象のところを変えていただくことで承認したい。よろしいか。 －意義なし－</p> <p>議題2：その他</p> <p>(座長) その他について、何かあるか。</p> <p>(事務局) 懇談会の会議は、本日が最後となる。委員の皆様には、全5回の会議にご出席いただき、多くのご意見を頂戴した。</p> <p>本日の会議の会議録は、作成ができ次第各委員へ送付させていただきますので、ご確認いただきたい。</p> <p>また、先ほどご審議いただいた報告書については、現在3月10日に座長から市長へ提出していただくよう準備を進めている。この報告書の提出をもって、本懇談会の任期は終了となる。</p> <p>今後、庁内の策定委員会を経て、3月の下旬頃からパブリックコメントを行う。その後、再度庁内の策定委員会や全員協議会等を経て、6月の議会に諮り、決定をいただく予定である。</p> <p>任期は終了となるが、各委員においては引き続き、ご指導を賜るようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： _____ 2人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
--------------------	--

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等： _____)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示 (根拠法令等： _____)</p>
---------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部 地域福祉課 (内線：155)</p>
--------------	-----------------------------

(日本工業規格A列4番)